

AG5

補習授業校情報交換会 #20

小規模補習校の授業と運営

<各地の開始時刻>

(1月24日)

USハワイ時間	11:00AM
US太平洋時間	1:00PM
US山岳部時間	2:00PM
US中部時間	3:00PM
US東部時間	4:00PM
ポルトガル・英国等	9:00PM
仏・独・北欧等	10:00PM

(1月25日)

タイ・ベトナム等	4:00AM
シンガポール・中国等	5:00AM
日本時間	6:00AM
グアム等	7:00AM
ニュージーランド	10:00AM



<画面の設定>

右上/左上のボタンや画面スワイプで切り替わります。

**スピーカー・ビュー**

話している人が大きく見えます。

**ギャラリー・ビュー**

多くの参加者の表情が見えます。

出席者所属 (住所)

アイダホ	コロンビアコミュニティカレッジ	フランクフルト「陽だまり」
アムステルダム	シアトル四つ葉学院	プリンストン
インディアナ	シカゴDePaul大	ブルーミントン
ヴィエンチャン	ダラス	ベネチア「どんぐり」
ウェールズ	ディジョン	ベネト日本語教室
エドモントン	ナント	ポートオブサクラメント
オマハ	ニューポートニュース	マーストリヒト
カールスルーエ	ニュルンベルク	マニトバ州日本文化センター
カリフォルニア大学	ノースカロライナ大学	宮城大学
カルガリー	ハートフォード	ミラノ
韓国国立仁川大学	バルセロナ	モンペリエ
カンザスシティ	ピッツバーグ	ユタ
キャンベラ	ヒューストン	リッチモンド
クリーブランド	フィラデルフィア	ロチェスター
コロンバス	ブノンベン日本人学校	

本日の予定

1. 資料のポイント説明
2. 質疑、情報・意見交換

* 終了後 15 分程度、小グループで自由に話し合う「自由交流会」を持ちます。お時間のある方はご参加ください。

◆ これからの情報交換会

開催が決まりましたらご連絡いたします。

リクエストは、ag5nsassa@gmail.com 佐々まで。

◆ AG5 授業研究会

今年度は終了しました。2021 年度にご期待ください。

◆ AG5 合同研究会・報告会

2月7日(日) 講演「香港で育てる日本語～ジャンルアプローチを用いて『書くこと』を教える試み」(香港日本人補習授業校 明石智子・今寿美子)

2月1日～ 報告「日本語の力が異なる子どもたちをともにのばす授業」(録画)

2月21日(日) パネルディスカッション「日本語の力が異なる子どもたちをどう伸ばすか」

・詳しくはこの資料の最後にある「チラシ」をごらんください。

◆ 録画について

スタッフの反省材料とするため、ミーティングを録画をさせていただいておりますが、それ以外の目的でお見せすることはいたしません。思わず言ってしまったことで後で心配になるようなことがないよう、リラックスして発言していただくためですので、ご理解をお願いいたします。AG5 で実施する授業研究会等のイベントでは、一定期間録画を視聴していただける場合もあります。

◆ ごらんください。

AG5 補習授業校情報交換会資料 <https://www.ag-5.jp/post/detail/13>

AG5 ウェブサイト <https://www.ag-5.jp>

補習校教員交流 Facebook <https://www.facebook.com/groups/1664125650300837/>

海外子女教育振興財団 (JOES) <https://www.joes.or.jp>

◆ 出席者と連絡を取りたいとき

ご希望をお知らせください。相手の方の許可がいただければ、メールアドレスをお知らせします。



ここが聞きたい

- ・小規模補習校で、教師の研修の機会をどのように作っているか。
- ・生徒数 100 人以下の補習校で、継承語／国際クラスを設置している例はあるか。
- ・児童生徒の実態に合ったカリキュラムの作成、教材の選択はどのようにしているか。
- ・「帰国組」「永住組」のニーズの違いにどう応えるか。小規模校ではクラス数を増やすことは難しい。
- ・財政上の困難を乗り越えるアイデアはないか。
- ・どのように現地で優秀な先生をリクルートするか・どのようにして先生方を惹きつけているのか（仕事が土曜日であること、また責任の大きさを気にしてか、補習校の先生になりたいという方が著しく少なくなっているような気がする）
- ・授業料を含めた財政運営方法
- ・保護者ボランティア



各校から

♣キャンベラ * * * * *

キャンベラ補習授業校より資料を提供させていただきます。(副理事 堀川 霞)

キャンベラ補習授業校 (オーストラリア キャンベラ)

(<http://www.canberra-hoshuko.org/cjss/>)

設立：1988年 法人化 2008年

母体：なし 保護者ボランティア

開催：土曜 8時50分 ~ 11時50分 年間42日 50分授業×3コマ

生徒数：小学部48人 中学部6人 合計54人 (2021/01/20 現在)

小1: 9人、小2: 13人、小3: 6人、小4: 6人、小5: 9人、小6: 5人、中1: 3人、中2: 3人

駐在員家族生徒：5人 現地生徒：49人

学年が上がると共に減少傾向が問題となっている。現地生徒割合増加に伴い、授業内容のレベルの維持、生徒間格差に悩んでいる。

2020年12月より現在中3生徒がいないため、他講師の教室巡回を行っての指導や、他学年の代講を引き受けて他新任教師の授業見学を実施している。

教員数：9名

小学部及び中学1年は、学年ごとに教員1名。中学2,3年は、国語教員1名、数学教員1名で両学年対応。現地採用のみ。どのように現地で優秀な先生をリクルートするか、どのようにして先生を惹きつけ、継続していけるかに苦労している。

アシスタント：なし 低学年で生徒人数が多く目が行き届かない等の状況の場合、クラス状況によって有志の保護者ボランティアが入ることがある。

運営：教員の教育関係以外は、理事会主体。 理事会は校長1名と保護者ボランティア6名（理事長、副理事長、会計、総務、校務、教務）で構成。理事会メンバーを含め、全保護者が上記部会などこの役割に付き、会計・給与、行事も含めて、全て保護者のボランティアで現在運営している。共働き家族が増え、会計業務の複雑化などで、保護者の負担も増えているので、外注案、行事削減などの実施を検討中。

借用校：Alfred Deakin High School（キャンベラ政府の公立高等学校）

校舎借用料は現在 12 教室借用 AU\$5,200+\$650（行事）だったが、今後計算方式変更でほぼ倍額になる可能性がある。オーストラリアの他地域では、公立学校の借用料が無料のところもあるが、キャンベラでは有料。

コロナ状況のため、2021 年 3 月までは借用料は無料となっており、コロナ対策の校舎使用後の清掃料もキャンベラ政府が負担してくれているが、今後は未定。

授業科目：国語・算数

1 週間ごとに 国語 2 コマ、国語 1 コマの時間割を交互に使用し、年間を通じて国語と算数（数学）がほぼ同時間数になるようにしている。

年間行事：入学式・始業式、餅つき、スプリングスクール（シドニーからの巡回教師による理科、体育、美術、調理等の特別授業 2,3 日）、遠足、運動会、卒業式・終業式

授業参観（年 2 回）、個別懇談会（教員と保護者の面談 年 2 回）、学びのたより・成績配布（年 2 回）、海外子女文芸作品コンクール（年 1 回 全員作文）、漢字検定（年 2 回、年 1 回必須）、書道（年 1 回 希望者のみ）

コロナの影響で、2020 年度はほぼすべての年間行事を中止し、個別懇談会はオンライン化にて実施した。

上記運営同様、多くの行事が保護者主体での運営となっているが、共働き家族が増え、保護者の負担が話題に上がっている。

入学審査：面接、筆記試験（五十音の筆記など） 授業のレベル維持のために実施

約 5 年前の継承語学校の設立、出産高齢化に伴う駐在員家族生徒の減少等の理由による生徒数の低下のため、入学審査の再検討し入学者数を増やす、退学者が減るような工夫が必要か、など話題に上がっている。

資金：授業料（入学金 AU\$75、1 生徒学期毎 AU\$235 x 4 学期、兄弟割引なし ドリル代別）、日本政府の補助金、キャンベラ政府からの補助金（2020 年度 \$5,500）

生徒数が約 70 名だった際には資金面での問題がなく運営できていたが、生徒数の減少に伴い授業料収入の減額、また借用校舎の値上がりに伴い、資金面での赤字が問題となっている。

授業体制：昨年約半年間のオンライン授業を行ったが、現在は対面授業に戻っている。

小3・中2 自身の少人数授業で効果的だと思われた内容

いつもありがとうございます。情報交換会を通じて、私自身も他の先生方からヒントや励ましを頂き、学ばせてもらっていますので、私の授業がどなたかの何らかのプラスになるなら嬉しいと思い、僭越ながらこの度共有させていただきます。

主な内容は、授業の内容、宿題、学校全体での取り組みです。補習校勤務は14年ほど。小3を約5年、中2を約8年担当。現在、中2生徒は無しのため、休職中。4月から復帰いたします。よろしくお願ひします。

リッチモンド補習校（生徒数は35名前後）中2担当 三川早苗

小3クラス 生徒数は多い時は13人ほど。平均5～6人でした。

授業で心がけたこと

飽きない授業をモットーに。

自身も明るく、楽しくするよう心がけた。

生徒が発言する機会を多くし、なるべく意見をつないでいくよう、声かけや発問を工夫した。

少人数だからこそ、生徒一人一人に目が行き届く。

学力の差への主な対策

extraプリントと呼ばれる発展的なプリントを用意。

クラスワークが終わった生徒には自動的にそれに取り組ませた。平等を図るため、そのプリントは下校時、全員に配布し、やりたい生徒は宿題としてやってくるようにした。

クラスワークが遅い生徒には頃合いを見て切り上げてもらい、休み時間に対応したりした。

授業で教科書の他に取組んだこと

ビンゴゲーム(国・算)

学期末にビンゴゲームで楽しく復習させた。

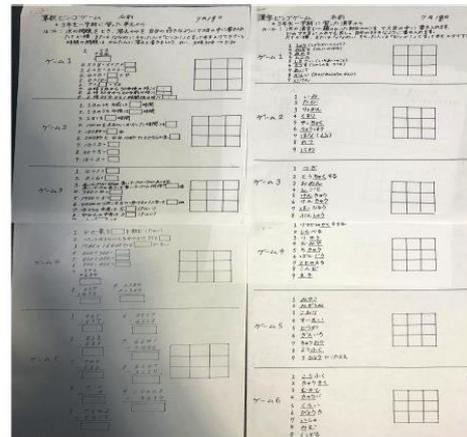
解答を升目に書いてもらう方法。小学生なので喜んで取り組んでいた。鉛筆などの景品を用意。

算数の100ます計算

→計算力アップに繋がった。

競争させると頑張る。チャートを作成。(成果の可視化もやる気を引き出す。)宿題にも出していた。

家庭での答え合わせを前提。自分の弱点をすぐに把握するため。してこない生徒は私が答え合わせをしてあげたが、少人数だからこそできることだと思う。



ビンゴゲーム

ことわざ、慣用句

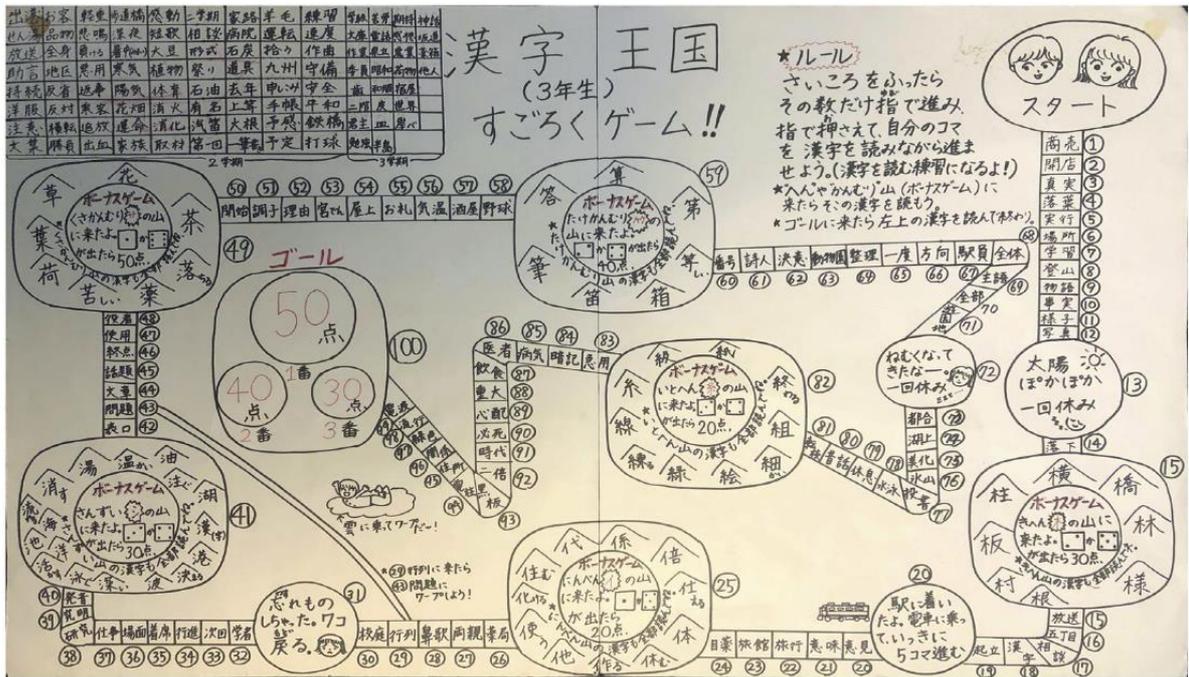
毎週15分ほど教えた。翌週にはクイズを。ことわざは「ねこぴーサイト」を利用。

慣用句は本からタイプし、自作プリントを用意。言語の学びはもちろんのこと、日本の文化も学べた。

漢字すごろくゲーム

1年分全ての漢字を取り入れるのは至難の技だったため、1、2学期分全て。3学期分は左上に記載。大判画用紙2枚をテープで繋げ、コマも用意し、クラスの休み時間や学期末などの機会に遊びながら漢字の読みを覚えてもらった。これも少人数だからこそ、全員参加・交代無しでできたこと。

↓自作の漢字すごろくゲーム



宿題

毎週

絵日記 細かく添削。(少人数だからできる。)

あくまで、やる気を保てるよう、褒めた上での
アドバイ的な添削。

読書感想レポート

100ます計算 など。

時々

作文(感想文など。)

学校全体の取り組み

漢字

当時は漢字強化学習として、小学部のみ、共通教材
を使用し、月に1度15分漢字に充てていた。(現在は
学校独自の漢検) 鐘で時間の合図。

学年発表

各学年が年に1度クラステーマを決め、全校生徒の
前で発表。小規模校なので全員が一室に会すること
ができる。学びに加え、縦の交流にも。

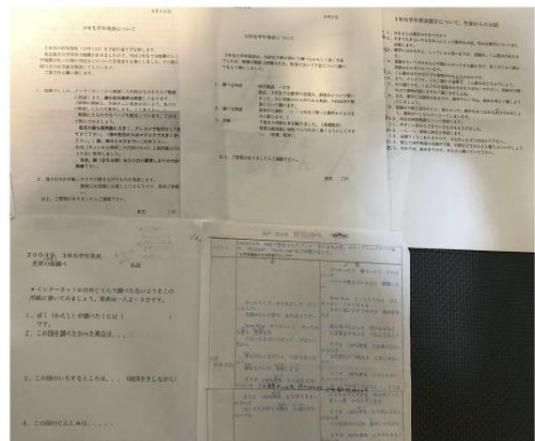
3年生当時の学年発表の例

四字熟語 地震について

朗読 歌(インスピレーションな歌に振り付け
をして踊りながら歌う。(歌詞の勉強、協同精神、
リズム感を養うのに役立った。)



←宿題プリ
ントの例



←学
年
発
表
の
例

中2クラス 生徒数は3～5人ほど。昨年度は2人。

授業で心がけたこと

飽きない授業。(小3と共通。)

全体的に反応が薄かったり、眠そうにしていたら、臨機応変に対応。面白い小話を入れたり、授業計画を即興で変更したり。少人数だからこそ、目が行き届きやすく、生徒個人的には、声かけや発問をして授業に引きつけるなど。

なるべく褒める。

多感な時期なので、プライドを傷つけないように。日本語能力にかなり差がでる場合があるので、決してできる子ができない子を馬鹿にしたりしないよう、できない生徒にも、その分英語に優れていることや、現地校での活躍ぶりを全員の前で褒めたりするなど、精神面で頑張れるよう配慮する。→これについても少人数だからこそ、配慮しやすい。

授業スタイル

対面式の場合

画用紙の手書き説明シートを予め用意し、ボードにマグネットで留め、説明する。(その場で書く時間を節約するため。)

生徒が少人数のため、視力が余程悪くないかぎり、画用紙の説明を見ることが可能。

手書きならではの長所は、順番に貼り付けていくので、追いついていけない生徒がいても、画面が消えて困ることはない。プロジェクターなどの機器がない場合にもパワーポイントのような役割になる。

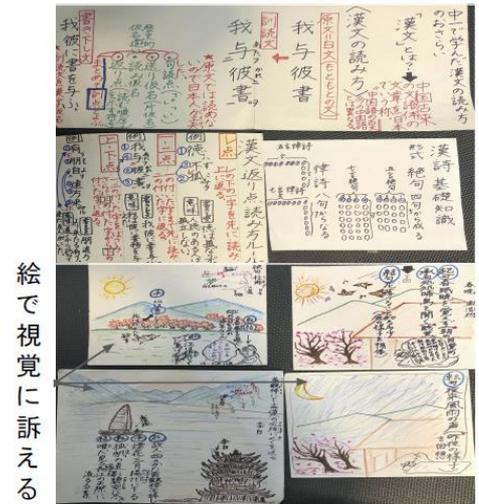
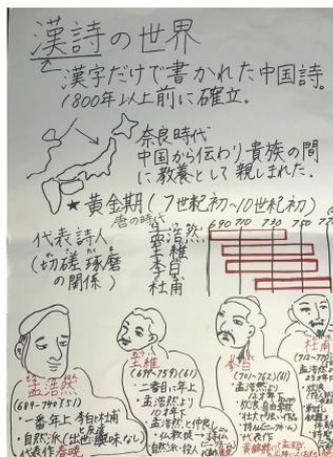
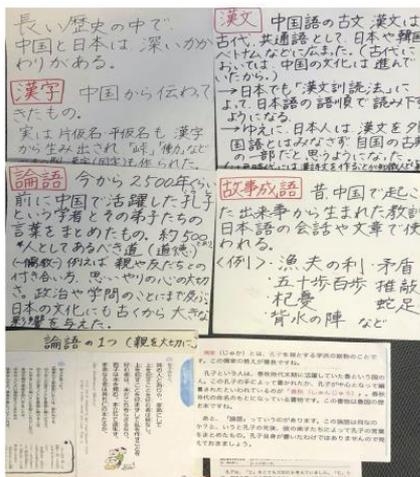
手軽。

オンライン式の場合

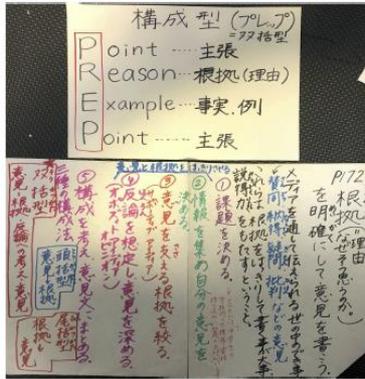
手書き説明シートの内容をPC入力してPowerPoint化する。(漢詩のPowerPoint版を別に紹介します。)

対面式授業の説明シート単元四つの例(漢詩、意見文、最後の晚餐、敬語)

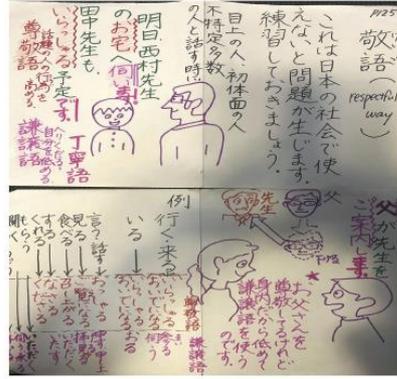
漢詩の説明シート手書き版 詩人の顔つきや特徴を見せ、興味を持ってもらうために中国と 詩人に親しみを持たせる。の関わりについて導入で説明。↓ ↓



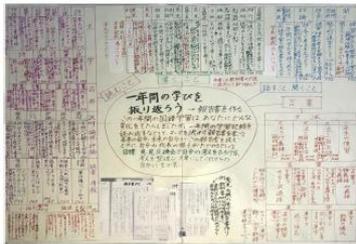
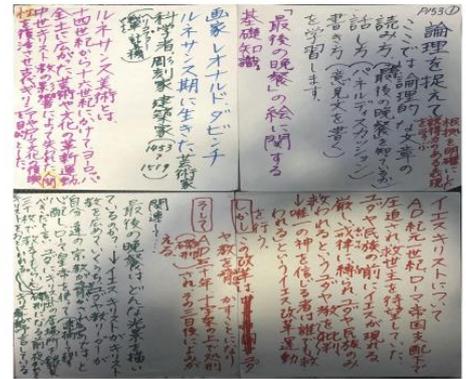
↓ 意見文



↓ 敬語

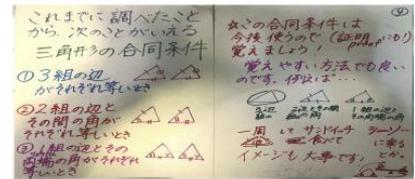


↓ 君は最後の晩餐について知っているか



数学説明シート

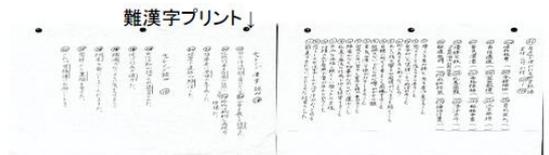
例 ↓



授業で教科書の他に取り組んできたこと。

難漢字プリント

漢字テストの時間帯にセットで発展漢字プリントを。教科書の内容に物足りなさを感じる生徒に特に有効。



模範小論文の切り離したものの組み立て

文脈に着目することにより、文章の流れを勉強する。

何度も模範小論文に触れることで、文章に慣れる。

新聞記事

天声人語や社説などをクラスで一緒に読む。

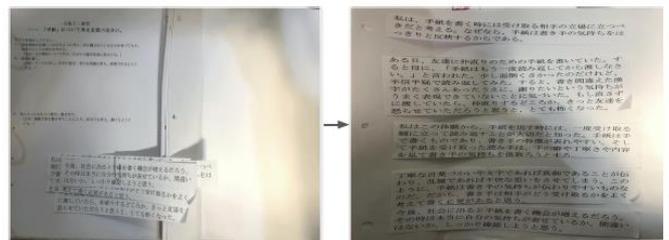
漢字かるた

漢字の苦手な生徒も数回やると取れるようになってきて、楽しみながら覚えらる。

先生が即興で読み札文章を考える。少人数だからこそ、やりやすく、全員参加が見込める。

1分スピーチ

プレゼン力を養う。思考を文章化することに慣れる。



宿題 以下は少人数のクラスだからこそ、先生が添削をしてあげられると思います。

ウソ日記(創作日記) 以前情報交換会で他校の先生方も紹介されていましたね！

短文作り(問題集から毎週5つ、手書きプリントを作成。)
教科書以外のやや難しい言葉。

作文

年間に10くらいの作文。年度末クラス文集にしてまとめ全員に配布。文集にすると提出しようとしてくれる。



学校全体の取り組み

漢字

当校独自の教材を使用しての漢検。月に1度15分。鐘で時間の合図。終業式で表彰。

学年発表

中学2年の例
ノーベルの伝記朗読とノーベル賞について
お正月について
各国のクリスマスについて
おもしろ科学の実験
数字のおもしろさ。
偉人について各自が選択。
Allについてのスライド



以上になります。お読みいただきありがとうございました！今後ともよろしく願いいたします。

2021年 1月 三川早苗

2020 年度 AG5 補習校チーム合同研究会・報告会

テーマ：日本語の力が異なる子どもたちがともに力を伸ばしていく授業づくり

(1) 講演「香港で育てる日本語～ジャンルアプローチを用いて『書くこと』を教える試み」

香港日本人補習授業校 明石 智子 今 寿美子

- ・日本時間 2月7日(日) 午後11時 - 12時 ・香港時間 午後10時 - 11時
- ・アメリカ中部時間 2月7日(日) 午前8時 - 9時
- (各地の開始時刻は次のページをごらんください)
- ・形式：Zoom ミーティング

(2) 報告「日本語の力が異なる子どもたちをともにのばす授業」(録画)

・今年度作成した7つの学習活動計画について、授業者と補習校チームメンバーの対談を録画で
ごらんいただきます。

- ① 小1,2,3 国語・生活「馬のおもちゃの作り方」(ダラス 長本玲子×AG5 佐々信行)
- ② 小3 国語「3年とうげ」(ワシントン 福嶋加代子×AG5 今澤 悌)
- ③ 小4 国語「ランドセルは海をこえて」(シアトル四つ葉学院 西尾由香×AG5 近田由紀子)
- ④ 小5 算数「平均」(ダラス 森 寛二×AG5 今澤 悌)
- ⑤ 小6 社会「わたしたちのくらしと日本国憲法」(ダラス ギャリス裕美子×AG5 岡村郁子)
- ⑥ 中1 数学「比例、反比例の利用」(シンシナティ 末沢敦子×AG5 渋谷真樹)
- ⑦ 中2 国語「漢詩の風景」(プリンストン 笠原朋子×AG5 雨宮真一)

(3) パネルディスカッション「日本語の力が異なる子どもたちをどう伸ばすか」

- ・日本時間 2月21日(日) 午後11時 - 12時
- ・アメリカ中部時間 2月21日(日) 午前8時 - 9時
- (各地の開始時刻は次のページをごらんください)
- ・パネラー：学習活動計画作成の授業者(各校1名)
- ・司会：補習校チーム 佐々信行
- ・形式：Zoom ミーティング



・参加ご希望の方は、所属(またはお住いの都市名)・お名前を明記の上、受付メールアドレス

snobuyuki232@gmail.com

あてに「AG5 報告会参加希望」とお知らせください。講演会・報告・パネルディスカッションのリンク
をお送りいたします。一部のみの参加も歓迎いたします。それぞれの録画は、日本時間3月31日まで
ごらんいただけるようにいたします。

合同研究会・報告会のお知らせ（つづき）

<講演開始時刻>

2月7日（日）

アメリカハワイ時間	4:00AM
アメリカ太平洋時間	6:00AM
アメリカ山岳部時間	7:00AM
アメリカ中部時間	8:00AM
アメリカ東部時間	9:00AM
ポルトガル・英国等	2:00PM
仏・独・北欧等	3:00PM
タイ・ベトナム等	9:00PM
シンガポール・中国等	10:00PM
日本時間	11:00PM
グアム等（8日）	0:00AM
ニュージーランド（8日）	3:00AM

<パネルディスカッション開始時刻>

2月21日（日）

アメリカハワイ時間	4:00AM
アメリカ太平洋時間	6:00AM
アメリカ山岳部時間	7:00AM
アメリカ中部時間	8:00AM
アメリカ東部時間	9:00AM
ポルトガル・英国等	2:00PM
仏・独・北欧等	3:00PM
タイ・ベトナム等	9:00PM
シンガポール・中国等	10:00PM
日本時間	11:00PM
グアム等（22日）	0:00AM
ニュージーランド（22日）	3:00AM

<AG5プロジェクト 公益財団法人海外子女教育振興財団が文部科学省より受託>

代表者

佐藤 郡衛 AG5 運営指導委員会委員長・明治大学特任教授
 中村 雅治 公益財団法人海外子女教育振興財団相談役

補習校チーム

雨宮 真一 東京学芸大学附属国際中等教育学校副校長
 今澤 悌 甲府市立大國小学校教諭
 岡村 郁子 東京都立大学教授
 近田由紀子 目白大学専任講師
 佐々 信行 海外子女教育振興財団教育相談員
 渋谷 真樹 日本赤十字看護大学教授

◎AG5のこれまでの成果をまとめた本が出版されました。



「海外で学ぶ子どもの教育 - 日本人学校、補習授業校の新たな挑戦」

（佐藤郡衛ほか著、明石書店）

[Amazon リンク](#)